

2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL https://www.sanyodenki.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役兼社長（氏名） 山本茂生
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部門担当（氏名） 北村恵一（TEL）(03)5927-1020
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,338	△22.7	△139	—	△247	—	△491	—	△491	—	△1,064	—
2019年3月期第2四半期	44,433	5.2	4,706	21.5	5,126	28.3	3,792	30.8	3,792	30.8	4,758	△7.1
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年3月期第2四半期	△40.62		—									
2019年3月期第2四半期	313.27		—									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	105,045	63,101	63,093	60.1	5,212.32
2019年3月期	106,304	64,832	64,824	61.0	5,355.20

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,200	△12.4	1,800	△72.7	1,800	△73.9	1,300	△73.9	107.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	12,972,187株	2019年3月期	12,972,187株
2020年3月期2Q	867,474株	2019年3月期	867,181株
2020年3月期2Q	12,104,793株	2019年3月期2Q	12,105,249株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は, 当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており, 実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や世界的なIT関連需要の落ち込みなどにより、依然として低迷が続いています。日本経済についても、海外経済の減速に伴い輸出が低迷したほか、企業収益の悪化から設備投資が減少するなど、活力のない状況が続きました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの業界においても、需要が大幅に減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上収益は34,338百万円（前年同期比22.7%減）となり、連結営業損失は139百万円（前年同期は連結営業利益4,706百万円）、連結税引前四半期損失は247百万円（前年同期は連結税引前四半期利益5,126百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は491百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益3,792百万円）となりました。

受注高は34,083百万円（前年同期比18.4%減）、受注残高は15,347百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上収益は34,855百万円（前年同期比24.2%減）となり、セグメント損失は909百万円（前年同期はセグメント利益3,237百万円）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上収益は3,991百万円（前年同期比23.0%減）となり、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント利益360百万円）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上収益は2,322百万円（前年同期比15.4%減）となり、セグメント利益は177百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD., 上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司および山洋電気（天津）貿易有限公司があります。セグメント売上収益は4,365百万円（前年同期比36.8%減）となり、セグメント利益は77百万円（前年同期比82.4%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD., SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上収益は9,392百万円（前年同期比23.0%減）となり、セグメント利益は186百万円（前年同期比69.3%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、制御機器や医療機器、電源装置向けの需要が堅調でした。一方、データセンター向けや、中国景気減速にともなうファクトリーオートメーション向けの需要は減少しました。

その結果、売上収益は11,015百万円(前年同期比8.4%減)、受注高10,787百万円(前年同期比9.9%減)、受注残高3,858百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、通信機向けや太陽光発電向けの需要が低迷しました。また工場設備向けの需要も設備投資の先送りの影響を受け停滞しました。一方、公共設備向けの防災・停電対策による需要は増加しました。また病院設備向けの需要も堅調に推移しました。

その結果、売上収益は3,097百万円(前年同期比6.9%減)、受注高4,163百万円(前年同期比13.8%増)、受注残高2,897百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、米中貿易摩擦による中国経済の減速、中国のスマートフォン向け設備需要の低迷、メモリ市場の減速による設備投資の先送りなどにより、工作機械・ロボット・半導体の各業界共に受注が大きく減少しました。

その結果、売上収益は16,318百万円(前年同期比37.5%減)、受注高15,073百万円(前年同期比34.7%減)、受注残高6,791百万円(前年同期比44.2%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電気材料の販売は、医療関連向けの需要が堅調に推移し、防災用無停電電源装置や太陽光発電事業関連も需要が増加しました。一方、半導体関連の需要は依然として低調でした。

鉄鋼関連事業の需要は、発注遅延により減少しましたが、構内設備および補修工事の需要は堅調に推移しました。

その結果、売上収益は3,051百万円(前年同期比41.8%増)、受注高3,235百万円(前年同期比41.3%増)、受注残高1,056百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

⑤電気工事業

製鉄所構内の電気工事は、老朽化した電気設備の更新および補修工事の需要が堅調に推移しました。一方、構外案件およびシステム案件の需要は、発注遅延のため低迷しました。

その結果、売上収益は855百万円(前年同期比4.1%増)、受注高822百万円(前年同期比4.5%増)、受注残高743百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計は1,258百万円の減少、負債合計は473百万円の増加、資本合計は1,731百万円の減少となりました。

資産の主な変動要因は、営業債権及びその他の債権の減少4,452百万円、IFRS第16号「リース」の適用による使用权資産の増加2,544百万円、現金及び現金同等物の増加1,843百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、営業債務及びその他の債務の減少2,278百万円、IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債(非流動負債)の増加1,681百万円、借入金(非流動負債)の増加1,186百万円によるものです。

資本の主な変動要因は、利益剰余金の減少1,085百万円、その他の資本の構成要素の減少644百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、13,536百万円となり、前連結会計年度末より1,843百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、4,912百万円(前年同期間は1,714百万円の増加)となりました。営業債権及びその他の債権の減少4,945百万円、減価償却費及び償却費2,545百万円、営業債務及びその他の債務の減少額2,011百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、3,117百万円(前年同期間は4,226百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,338百万円、無形資産の取得による支出934百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の増加は、427百万円(前年同期間は2,182百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入2,000百万円、配当金の支払額664百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		11,693	13,536
営業債権及びその他の債権		27,354	22,902
その他の金融資産		771	738
棚卸資産		22,493	22,014
その他の流動資産		1,282	771
流動資産合計		63,595	59,964
非流動資産			
有形固定資産		26,084	26,019
無形資産		4,624	4,952
使用权資産		—	2,544
投資不動産		1,503	1,503
その他の金融資産		9,413	9,384
繰延税金資産		682	595
その他の非流動資産		399	81
非流動資産合計		42,708	45,081
資産合計		106,304	105,045
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		16,228	13,949
借入金		9,097	9,243
リース負債		—	710
その他の金融負債		200	79
未払法人所得税等		357	294
その他の流動負債		2,106	1,623
流動負債合計		27,991	25,901
非流動負債			
借入金		5,899	7,085
リース負債		—	1,681
その他の金融負債		45	5
退職給付に係る負債		7,338	7,079
繰延税金負債		0	0
その他の非流動負債		195	189
非流動負債合計		13,480	16,043
負債合計		41,471	41,944

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資本			
資本金		9,926	9,926
資本剰余金		11,460	11,460
利益剰余金		44,768	43,683
自己株式		△2,410	△2,411
その他の資本の構成要素		1,078	433
親会社の所有者に帰属する持分合計		64,824	63,093
非支配持分		7	7
資本合計		64,832	63,101
負債及び資本合計		106,304	105,045

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益		44,433	34,338
売上原価		32,710	27,830
売上総利益		11,723	6,507
販売費及び一般管理費		7,125	6,720
その他の収益		112	81
その他の費用		3	7
営業利益又は損失(△)		4,706	△139
金融収益		468	137
金融費用		48	245
税引前四半期利益又は損失(△)		5,126	△247
法人所得税費用		1,333	243
四半期利益又は損失(△)		3,792	△491
四半期利益又は損失(△)の帰属			
親会社の所有者		3,792	△491
非支配持分		0	0
四半期利益又は損失(△)		3,792	△491
1株当たり四半期利益又は損失(△)			
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		313.27	△40.62

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上収益		22,051	17,285
売上原価		16,458	14,252
売上総利益		5,592	3,033
販売費及び一般管理費		3,522	3,257
その他の収益		33	50
その他の費用		0	5
営業利益又は損失(△)		2,103	△179
金融収益		129	19
金融費用		25	57
税引前四半期利益又は損失(△)		2,207	△217
法人所得税費用		576	105
四半期利益又は損失(△)		1,630	△322
四半期利益又は損失(△)の帰属			
親会社の所有者		1,630	△322
非支配持分		0	0
四半期利益又は損失(△)		1,630	△322
1株当たり四半期利益又は損失(△)			
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		134.71	△26.65

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益又は損失(△)		3,792	△491
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		△264	29
確定給付制度の再測定		526	121
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		703	△724
その他の包括利益合計		965	△572
四半期包括利益		4,758	△1,064
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		4,757	△1,064
非支配持分		0	△0
四半期包括利益		4,758	△1,064

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益又は損失(△)		1,630	△322
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		46	272
確定給付制度の再測定		359	122
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		396	△178
その他の包括利益合計		802	215
四半期包括利益		2,433	△106
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		2,432	△106
非支配持分		0	△0
四半期包括利益		2,433	△106

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2018年4月1日残高		9,926	11,460	41,361	△2,406	3,320	—
四半期利益又は損失(△)		—	—	3,792	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△264	526
四半期包括利益		—	—	3,792	—	△264	526
自己株式の取得		—	—	—	△3	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当		—	—	△665	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	526	—	△0	△526
所有者との取引額等合計		—	0	△139	△3	△0	△526
2018年9月30日残高		9,926	11,460	45,014	△2,409	3,056	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2018年4月1日残高		△1,536	1,784	62,127	7	62,135
四半期利益又は損失(△)		—	—	3,792	0	3,792
その他の包括利益		703	965	965	0	965
四半期包括利益		703	965	4,757	0	4,758
自己株式の取得		—	—	△3	—	△3
自己株式の処分		—	—	0	—	0
剰余金の配当		—	—	△665	△0	△665
利益剰余金へ振替		—	△526	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△526	△668	△0	△668
2018年9月30日残高		△832	2,223	66,216	7	66,224

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2019年4月1日残高		9,926	11,460	44,768	△2,410	2,363	—
四半期利益又は損失(△)		—	—	△491	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	29	121
四半期包括利益		—	—	△491	—	29	121
自己株式の取得		—	—	—	△1	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当		—	—	△665	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	71	—	50	△121
所有者との取引額等合計		—	0	△593	△1	50	△121
2019年9月30日残高		9,926	11,460	43,683	△2,411	2,443	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2019年4月1日残高		△1,285	1,078	64,824	7	64,832
四半期利益又は損失(△)		—	—	△491	0	△491
その他の包括利益		△723	△572	△572	△0	△572
四半期包括利益		△723	△572	△1,064	△0	△1,064
自己株式の取得		—	—	△1	—	△1
自己株式の処分		—	—	0	—	0
剰余金の配当		—	—	△665	△0	△666
利益剰余金へ振替		—	△71	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△71	△667	△0	△667
2019年9月30日残高		△2,009	433	63,093	7	63,101

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益又は損失(△)		5,126	△247
減価償却費及び償却費		1,935	2,545
受取利息及び受取配当金		△143	△137
支払利息		46	64
営業債権及びその他の債権 の増減額(△は増加)		797	4,945
棚卸資産の増減額(△は増加)		△1,929	204
営業債務及びその他の債務 の増減額(△は減少)		△2,143	△2,011
その他		△372	△88
小計		3,317	5,276
利息の受取額		30	23
配当金の受取額		112	114
利息の支払額		△51	△65
法人所得税等の支払額		△1,695	△436
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,714	4,912
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△2,765	△2,338
無形資産の取得による支出		△1,246	△934
有形固定資産及び無形資産 の売却による収入		5	0
その他の金融資産の売却による収入		—	83
その他		△219	71
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,226	△3,117
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		1,100	△200
長期借入による収入		1,987	2,000
長期借入金の返済による支出		△187	△418
自己株式の取得による支出		△3	△1
配当金の支払額		△663	△664
その他		△51	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,182	427
現金及び現金同等物に係る換算差額		176	△379
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△152	1,843
現金及び現金同等物の期首残高		13,182	11,693
現金及び現金同等物の四半期末残高		13,029	13,536

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリースについて、その資産の使用権である使用権資産と支払に伴う債務であるリース債務を連結財政状態計算書に計上しています。

当社グループは、当該基準の適用にあたって、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、IFRS第16号適用時に資産及び負債がそれぞれ2,627百万円増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の営業損失、税引前四半期損失、および四半期損失に与える影響は軽微です。

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第16号を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものです。

当社グループは、主に冷却ファン、電源機器、サーボモータを生産、販売しており、地域性を重視した戦略を立案し、グローバルに事業を展開しています。

報告セグメントは、事業展開する経済圏等の地域特性から、日本、北米、ヨーロッパ、東アジア、東南アジアの5つを報告セグメントとしています。なお、当該報告セグメントの決定に当たって、事業セグメントの集約はおこなっていません。

2 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	30,881	5,167	2,735	5,053	594	44,433	—	44,433
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	15,078	13	11	1,851	11,607	28,563	△28,563	—
計	45,960	5,181	2,747	6,905	12,202	72,996	△28,563	44,433
セグメント利益	3,237	360	255	440	607	4,901	△195	4,706
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	468
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	48
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	5,126

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額△195百万円は、セグメント間取引消去です。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	24,436	3,954	2,310	3,293	343	34,338	—	34,338
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	10,418	36	12	1,071	9,049	20,588	△20,588	—
計	34,855	3,991	2,322	4,365	9,392	54,927	△20,588	34,338
セグメント利益または 損失(△)	△909	△1	177	77	186	△469	330	△139
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	137
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	245
税引前四半期損失(△)	—	—	—	—	—	—	—	△247

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額330百万円は、セグメント間取引消去です。

前第2四半期連結会計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	15,575	2,408	1,396	2,383	286	22,051	—	22,051
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	7,775	5	1	868	5,735	14,386	△14,386	—
計	23,351	2,414	1,397	3,252	6,022	36,437	△14,386	22,051
セグメント利益	1,387	171	149	184	320	2,213	△109	2,103
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	129
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	25
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	2,207

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△109百万円は、セグメント間取引消去です。

当第2四半期連結会計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注2)	連結
売上収益								
外部顧客への 売上収益	12,371	2,113	1,069	1,618	112	17,285	—	17,285
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	5,017	20	10	554	4,488	10,092	△10,092	—
計	17,389	2,134	1,079	2,173	4,601	27,378	△10,092	17,285
セグメント利益または 損失(△)	△521	38	88	39	94	△262	82	△179
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	19
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	57
税引前四半期損失(△)	—	—	—	—	—	—	—	△217

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額82百万円は、セグメント間取引消去です。